

# 今は昔 参拾餘年前の歐羅巴行脚

## 一月も月立つごとき若きかな つくづく老いをするわが身何ならむ(梁塵秘抄)

清水 隆

2008年8月4日付の讀賣新聞朝刊の付録日曜版の片隅に、以下の様な興味深い一文が掲載されて居た。

讀賣日曜版  2008.8.4

### \*携帯をオフにして

久しぶりの海外旅行で、空の旅の楽しさを改めて感じた。魅力の一つは、外界から遮断された時間を持つことにあると思う。

携帯電話機やインターネットの発達で、今では世界中どこにいても人と連絡をとったり最新のニュースを眺んだりすることができるようになった。

便利な反面、どこに旅をしようが「日常」から完全に逃れることは、難しくなってしまった。携帯電話の小さな画面を開けば、日本で起きた殺人事件や地震の情報がリアルタイムでわかる。ホテルを出て町を歩いているだけでも、日本からの連絡を受けることは可能だ。

どこにいても日常につながれているようで、旅の開放感は、以前より低下したような気がする。

そんな中、客室乗務員の指示に従い、地上ではほぼ24時間オフにしない携帯電話の電源を、飛行中はオフにした。

最初はいささか手持ちぶたさだったが、慣れてみると、友人にメールを送ることも、掲示板へのぞくこともない時間は実に新鮮で、さすがにしくさえあった。そして、いかに日ごろ、不要不急の、反射神経から発したようなメールを友人と送りあっているかを、思い知らされた。

携帯もネットも便利なツールには違いない。でも、たまにはあえて電源をオフにして「誰とも連絡をとらない時間」を持つことは、案外大切なことのように思える。

(鈴木美潮)

確かに喧噪極まり無い貳拾壹世紀初頭に在って、携帯電話やパーソナルコンピューターを初めとする諸々の通信手段の劇的な発達に依って、平穏な日常生活が否應無しに、奪われて居る事實は否定しようが無い。「不要不急の神経から発したような」通信の利用は勿論、當人の現代的生活態度から發生する譁だが、平成と謂う時代其のものがしからしむる處ではあろう。古來「旅」とは精神的平穏を希求する最も優雅な手段であった筈で、旅を終つてrefreshされる事を願いつつ、旅路に就くのである。芥川龍之介が宇野浩二と共に、初めて支那大陸を訪れた後の種々の書簡に散見される refreshness の賜物は、將に、東京での苦澁に満ちた當時の日常生活からの一時の解放であったに違ひ無かろう。處で、通

信手段の發達と共に、驚くべき進歩を見せたものの筆頭に交通手段が擧げられよう。特に、航空機の眼を瞠らなばかりの改良は、航路の多様化と相俟って、驚異的に進歩し、地球上如何なる地域にも貳拾四時間以内に到達可能となって居る事實は衆知の通りである。其處で、不図、脳裡を掠めたのは、參拾餘年前の筆者自身の初めての英國を主とする歐羅巴歴訪の旅であった。1973年夏、貳年後に控えた英國長期留學の下準備の一環として、永年の研究對象である George Gissing (1857~1903) の産まれた英國と、作家が流浪した佛蘭西・伊太利・希臘の各國を、作家の足跡を辿りながら取敢えず、尋ねて見ようと言うものである。當然の事乍ら、當時には携帯電話やパーソナルコンピューター等は在る筈も無く、又、航路も British Airways の London 直行便は高嶺の花で、予算の限られた貧乏旅行では、往路は Anchorage-Amsterdam 經由の北回り London 便を利用、復路は南回り Dubai-Dehli-Bangkok-Manila 經由の東京着と謂う、將に亞細亞及び歐州兩大陸を一周する低費用に反比例する時間と体力が要求される厳しいものであった事を、今にして想えば、懐かしく想い出すのである。そこで、古稀を超えた筆者の *nostalgia* との誹りは充分に承知の上で、此の旅行の詳細を、當時の日記を基に、追憶して見ようと思う。

1973年（以下同年）7月22~23日

Haneda(何と國際線發着は總て羽田空港であった!) 10:30 p.m.(11:10 遅發) KLM868 便 (DC10) は、翌7月23日 6:00 a.m. に最初の給油地 Anchorage に着陸したが、整備不良箇所が発見されたとの事で、約六時間出發が遅れ、12:10 p.m. に漸く離陸し、8:30 p.m. に Amsterdam Skipole 空港に到着。現地時間 2:10 p.m. にて London へ向けて出發したのだが、當時世界的に terrorism が横行して居た爲に、同空港の着發時の身体検査は嚴重を極め、男女を問わず股間に迄検査官の手が延びて、外人の女性客からは悲鳴が擧がる程であった事を、今も、鮮明に記憶して居るのだが、3:20 p.m. London Heathlow 空港に約三拾分遅れて到着した際にも、通關の折に、'on holiday' では認め

今は昔 参拾餘年前の歐羅巴行脚一月も月立つときさきかな つづく老いをするわが身何ならむ(梁塵秘抄)

られず、當日から宿泊予定の Rubens Hotel の reservation の確認から、東京の勤務校への身分証明の連絡やらで、結局空港を出たのが 5:30 p.m.、hotel に到着した時は、既に、8:00 p.m. とする始末であった。然し、悪い事ばかりは續かないもので、客室に入ると同時に就寝し、お蔭で、最も危惧して居た time lag に依る睡眠不足を十分に補う結果となったのであった。(porter tip £2. taxi & tip 4.49 + 51p hotel porter 30p 計 7.30p)

7月24日 (wed) 雨後晴

約拾時間熟睡した後、10:30 a.m. に JTB より紹介された現地の旅行代理店 AVI Agency の谷川氏に面會し、Scotland Tour の手配を依頼した後、Oxford St. にて、London 特有の變り易い天候に備えて、stick 兼用の雨傘(現在も愛用)と、ノート(2)及びボールペン(1)を購入、續いて 2:15 p.m. に Tottenham Court Road の Grand Metropolis 電器店裏から出發する Evan-Evans の Afternoon London Tour の bus に乗り、St. Paul Cathedral, American Chapel, Tower of London, Crown Jewels 等を見學後、5:15 p.m. 頃 New Oxford St. を window-shopping してから、tube にて Victoria Line の Victoria へ歸る。約壹世紀前に、敬愛する作家 Gissing が屢々歩いたであろう同じ土の上を、往時を偲び乍ら歩き廻る事の出來た喜びと感激は、將に、一入のものが在ったのであった。

7月25日 (Thurs) 快晴

爽快な青空の下、午前中は postcard 書きに費し、1:40 p.m. National Gallery 前にて山本幸男教授(武蔵野女子大學文學部の同僚にして無二の親友。残念乍ら昨年他界。)と其の知人栗須氏と連れ立って、Swiss Center で晝食後、早速 Gissing の住居跡を數箇所確認してから、Rubens Hotel へ戻る。憧憬の作家の生きた街に今自分が在る事の喜びと緊張で非道く疲勞した一日ではあった。「古都の夏慕う作家の道標」(當時の London での物價を知る意味も籠めて、以下、諸経費を列

舉して見よう。)

7/24 postcards and stamps 2.92 tube 40p Evan-Evans Tour 1.90  
Note (2) 1.14p ball-pen(1) 6p umbrella 3.99 handkerchief (3) 1.95  
shampoo 60p rinse 17p pipe tobacco 2.70p snack 79p toy 75p card (2)  
9p tomatos & plums 38p ale 80p taxi 1.20 計 22.70p 他に room  
service 1.40p)

(7/25 underground 20p taxi (Trafalgar to Euston) 70p (Euston to  
Oxford) 60p (Oxford to Victoria) 76p stamps 1.20p ice-cream 20p  
Narikoma (dinner) 10.95p (tip 50p) fruits 94p room-service 10p 計  
16.09P)

7月26 (Fri) 雨

10:20 a.m. South Kensington 驛にて山本氏と待ち合わせて、Oakley  
Terrace, Regents Park の Cornwall Terrace, Milton St. 等を訪れる。正  
確無比な London Map のお蔭で、道に迷う事皆無。1:00 p.m. 山本氏  
の知人東洋綿花の柴田氏を訪問し、英國名物 roast beef を御馳走にな  
る。4:00 p.m. 過ぎ AVI agency へ寄った後、Piccadilly Circus から  
Regents St. Bond St. 及び New Bond St. を歩く。London 切つての繁華  
街の景觀美事。8:20 p.m. Soho 内の「北海」にて夕食。日本料理らし  
き品々なれど、久し振りの醤油と胡麻油の味に早くも郷愁を禁じ得ず。

(tube 20p taxi (Trafalgar to Euston) 70p (Euston to Oxford) 60p  
(Oxford to Victoria) 70P stamps 1.20p ice cream 20 Hokkai  
10.95p fruits 94p 計 16.99p)

7月27日 (Sat) 曇

11:10 a.m. Victoria No. 1 から Dover 行にて Geoffrey Chaucer *The  
Canterbury Tales* で名高い Canterbury へ。12:40 p.m. 着。

寺院及び周邊を見學後 15:39 p.m. 發 17:06 p.m. Victoria 着。  
Geoffrey Chaucer の *The Canterbury Tales* の約七日間の旅を想起しつ

今は昔 参拾餘年前の歐羅巴行脚一月も月立つごとき若きかな つくづく老いをするわが身何ならむ(梁塵秘抄)

つ、片道壹時間貳拾七分の電車の速さに感慨深し。7:30 Buckingham Palace 前と Green Park を散策後 Angas Steak House にて、堅過ぎる英國の肉に辟易する。

(newspaper 4p tips (to a room-maid 20p) tickets for Canterbury (retour) 3.72p fruits, bread & cheese 85p postcard 9p pocket-book 30p books 1.33p fruits 60 dinner 5.40p 計 15.50p)

7月28日 (Sun) 晴一時雨後曇後晴

London 特有の目紛しい天候の一日。10:00 a.m. Buckingham Palace の Changing of the Guards (衛兵交替) を見學。11:30 a.m. から漸く開始されたが、期待した程の事無し。草疲れもうけ。2:00 p.m. British Museum の mummy 館を訪れる。此方は興味深し。5:00 p.m. Houses of Parliament へ。漸く underground の乗り換え等に馴れてまごつかなくなった。

(tip (to a maid) 20p tickets 10p Wimpy 1.50p postcards 16p souvenirs 46.25p books 3.55p ticket 10p × 2 20p Hokkai 10.65p cards 70p notes (2) 98p taxi 40p + 10p (tip) Cola 35p 計 65.28p)

7月29日 (Mon) 快晴

10:00 a.m. 再び Horse Guard を観てから St. James'Park を散策。優雅に裸で日光浴する市民を見て、北國の夏の大切さを実感する。12:30 p.m. 南部 Brixton 地區を調査。Gissing が恵まれない時期を暫く過した貧しい地域。馬糞を踏んで (!) 後始末に困った。5:00 p.m. Madame Tussaud にて吉田茂元首相等の蠟人形の精功な造りに驚く。

(Coke & Fanta 24p tip (to a maid 20p) tickets (retour) 20p luncheon (self-service) 84p ticket to AVI 20p games & juice 86p souvenirs £8.00 ticket (fr. Baker St. to Oxford) 10p Meito (chinese dinner) £2.00 taxi (to Rubens Hotel) 40p tea & tip (to a waiter) 60p ice-cream 20p 計 17.9p)

7月30日 (Tues) 晴時々曇

10:30 a.m. Charing Cross, Tottenham Court Road 周辺を調査。思わしい結果得られず失望。再調査を期す。2:00 p.m. Knights Bridge へ。Aquascutum にて念願の jacket と trousers を買う。袖口直しに一週間！ 5:00 p.m. AVI へ Scotland Tour の schedule と tickets 及び hotels の reservations (including hotel at Wakefield) を受取りに行く。£134 + 22p 7:30 Ye Olde Chyreshire (純英國風パブ) にて dinner.

(tips (to a maid 20) tickets (to Leister (retour) 20p oranges and grape fruits 48p newspaper 4p luncheon 70p ticket (to Knights Bridge) 20p Aquascutum 80.85p souvenirs 22.15p necktie £5 taxi 80p AVI £156.luncheon 1.93p ticket (to Knight Bridge 10p souvenir 13.80p + 17.35p necktie 6.50p Cola & etc. 51 ticket (to Victoria) 10 taxi (to Fleet St.) 6.00 + 10p taxi to Yanagawa (AVI) 1.50 計 43.10p AVI (Scotland tour) £134 + 22 (\$300 + £9.50p) £ 108.64 (\$300 + 9.80p))

7月31日 (Wed) 曇時々晴

5:20 p.m. 南英から歸京した山本氏と hotel で歓談。休息日

8月1日 (Thurs) 曇時々晴 Windermere 晴

12:00 p.m. Euston Station より Carisle 行にて出発。途中 Oxenholme にて乗換えて 4:16 p.m. に Windermere に到着。鈍行列車の旅を満喫。Windermere 湖にて self-drive の boat に乗り浅瀬に乗り上げて大失態。Applegarth Hotel は英國風の鄙びた然し落ち着いた hotel で此の町の勞困氣にぴったりと溶け込んで居る様子。此れ又こじんまりした restaurant にて dinner。London の喧騒を離れて久し振りに落着く。

(tips (to a maid 20p) taxi (to Euston 84p + 10p tips to driver 30 taxi (to Lake) 40p + 10p tea 12p motorboat £1 souvenir 12.40p postcards (3) 9p dinner 2.12p + 10p tobacco 49p souvenir 8.68p 計 28.26p)

今は昔 参拾餘年前の歐羅巴行脚一月も月立つごとき若きかな つくづく老いをするわが身何ならむ(梁塵秘抄)

8月2日 (Fri) 曇後晴寒し (!)

10:52 a.m. Windermere 発 - 11:16 a.m. Oxenholme - 11:25 a.m. Glasgow 行に乗換え 13:18 p.m. Carstairs にて再び乗り換えて 13:56 p.m. Edinburgh Waverley Station 着。taxi にて Royal Scot Hotel へ。約 4miles 程離れた静かな地域。小憩後繁華街 Princess St. へ明朝の bus の出発場所確認と散策に出掛ける。建造物も街の雰囲気も一様に黒ずんだ grey mood。London より更に北國へ来たと実感することしきり。

(taxi (to hotel 96p + 9p bus (to Princess St.) 10p battery 89p socks 66p teeth paste 11p books 51p dinner 3.60p. bus (to hotel) 10p 計 7.22p)

8月3日 (Sat) 晴時々曇後雨

6:00 a.m. 起床。8月と言うのに薄ら寒い氣候。9:00 a.m. Eastern Scottish Co. の 3 days tour (Loch Ness and the Great Glenn) に参加し、St. Andrews Bus Station を出発一路北へ。満席の盛況 (日本人参名中國人家族四名の他は歐米人ばかり) 10:30 a.m. morning tea , 12:50 p.m. luncheon , 4:50 p.m. afternoon tea と英國流の日中を過しつつ 7:00 p.m. Drumdrachit Hotel に到着。7:40 p.m. dinner。日本の忙しい団体旅行とは似ても似つかないのんびりとして優雅な約拾時間。driver が guide を兼ねて種々説明して呉れたが、強い Scottish accent で完全には聞き取れない事が多かった。

(taxi (fr. hotel to St. Andrews Bus Station 1.02p + 10p morning tea 14p Pepsi-Cola 10p + 2p (tip) souvenir 7.45p map 40p wine 1.04p + 6p 計 10.59p)

8月4日 (Sun) 快晴後曇 (changeable)

9:30 a.m. 起床。breakfast を pass して 10:45 a.m. 近隣を散策。2:15 p.m. Loch Benevian へ bus にて出掛け salmon-jumping 等を堪能。6:15 p.m. hotel に戻り 7:30 p.m. dinner。のんびり過した一日。

(tea 12p wine 1.54p green salad 65p tip (to a waiter) 5p 計 2.48p)

8月5日 (Mon) 快晴

9:00 a.m. hotel 出発。Loch Ness 等を経由して、6:20 St. Andrews Bus Station に到着。6:50 p.m. 山本氏来訪。8:00 hotel で dinner. 山本氏帰る。

(tips (to a boy) 10p morning tea 24p dinner 5.45p + 20p tip (to a maid) 20p bar 1.47p + 10p 計 7.60p)

8月6日 (Tue) 曇後晴

10:30 過ぎ起床。12:40 p.m. Terrace Restaurant にて luncheon。本格的な接待に驚く。3:00 p.m. Princess Street にて shopping。残念乍ら Edingburgh Castle は休業の爲入れず。6:55 p.m. chinese restaurant にて山本氏と dinner。

(luncheon 6.24p + 20p (tip to a maid) bus (to Princess St.) 10p souvenir 1.73p postcards (2) 5p ice-cream 12p salad & juice 55p tip (to a boy) 50p bar 95p + 5p sandwiches (room service) 50p + 5p teeth paste 20p tobacco 44p 計 18.78p)

8月7日 (Wed) 曇

11:10 a.m. Edingburgh 発、途中 New Castle, Darlington, York を經由して Doncaster 15:06 p.m. 着。15:29 p.m. 乗換えて 15:53 p.m. Wakefield Westgate Station に到着。Gissing の生誕の地に足を踏み入れた興奮から、4:30 p.m. より直ちに調査に取り掛かり、先ず Balne Lane に在る Public Library の headquarter に赴き、Gissing Collection を見せて貰う。こぢんまりとした部屋の一角に、作家の初版本や研究書等がびっしりと整頓されて居り、日本では到底御眼に掛かれない貴重品ばかりで、未熟な研究者にとっては、將に、垂涎的であった。親切な司書の方に協力して戴き、英国内（特に作家が轉々とした各都市）で、Gissing の著作等の入手可能な古書店等を紹介して貰い、滞



今は昔 参拾餘年前の歐羅巴行脚一月も月立つごとき若きかな つくづく老いをするわが身何ならむ(梁塵秘抄)

英中に出来る丈、多くの資料を蒐集する決意を固めたのであった。

(taxi 1.02p + 23p sandwiches in the train 66p dinner 6.50p 計 8.41p)

8月8日 (Thurs) 雨

11:00 a.m. taxi にて作家の生地 Wakefield 郊外の Agbrigg へ。1889年5月25日から同年8月19日迄、一種の nervous depression を療すべく、London の夏を逃れて、母親や弟妹と共に避暑を兼ねて逗留した處で、其の當時の建物が現存して居る落ち着いた處であった。2:30 p.m. 一路 Manchester へ。此の約七拾萬餘の人口を持つ北西 England の商工業都市に、様々な意味で作家の一生を決定させた Owens College (現在 The Victoria University of Manchester) が悠然と聳え立って居た。一昨年 (1972 年) に百年祭を記念して建設された大學棟は、尖塔を持つ本部を中心に、右手に圖書館、左手に校舎 (元の Owens College) と、堂々とした偉容を誇り、現在壹萬餘の學生を擁する總合大學であるが、街中で聴いた古老の話では、開學当初は、在籍數僅か四拾五名に過ぎなかったとの事。折柄土砂降りとなった中で、正門に佇んで、失意の中に此の地を去った作家の姿を暫し追憶した事であった。

(map 20p post-stamps (10) 60p luncheon 3.24p taxi (to Manchester) 20.10p + 3.90p dinner 4.91p tobacco 85p chewing gum 14p 計 31.14p)

8月9日 (Fri) 曇時々晴

9:57 a.m. Wakefield 發。1:03 p.m. King's Cross 着。3:00 p.m. AVI agency へ。3:30 Aquascutum へ背廣受け取りに。5:45 p.m. 再び AVI agency にて、佛蘭西への列車と船の予約券等を受領して Rubens Hotel に戻り、日本への荷物造りに務める。

(Caesar's Hotel (Wakefield 2 nights) 28.80p sandwiches & juice 67p tickets (to Victoria, to Oxford 各 20p) 計 40p souvenir to AVI 1.67p wrapping papers (5) , strings , tapes 計 1.98p ticket (to

Kightsbridge) 20p taxi (to Rubens Hotel) 35p Hokkai (dinner)  
7.01p ice-cream 15p oranges (6) 30p games 80p AVI reservation:  
Lausanne Hotel (2 nights) ticket (fr. London to Paris) 計 \$100 (£  
38) £2 back 計 49.36 + £38)

8月10日 (Sat) 曇晴後雨

10:00 a.m. John Murry Ltd. に The Rediscovery of George Gissing を  
購入すべく赴くも生憎休業。The Hacchand's Book Shop にて *Born in  
Exile* : George Gissing を入手。2:15 p.m. 荷造りした日本への荷物を  
post-office へ。航空貨物運賃の高いのに驚く。6:20 p.m. dinner。

(taxi (to Bond St.) 60p *Born in Exile* £4 tickets 20 purse 2.45  
orange & peanuts (2) 52p tip (to a maid) 20 taxi (to Trafalgar)  
60p ticket (to Leicester) 15p air-mail (5 parcels) 25.75 shirts 4.95  
tie 5.75 dinner (Saga) £22 計 67.13)

8月11日 (Sun) 晴

10:30 St. James' Park を散策。12:00 p.m. 東京へ collect & personal  
call。2:20 p.m. Thames 河遊覧船にて Greenwich Park へ。世界の標準  
時の地の実感殆ど無し。6:30 p.m. Hokkai にて dinner。愈々明日から、  
三週間に及んだ英國滞在を切り上げて、先ずは佛蘭西へ。

(tip (to a maid) 20p sandwiches & tea, Coke £1)

8月12日 (Mon) 雨 (London & 英佛海峡) 後晴 (Paris)

9:20 a.m. Victoria 驛。10:30 a.m. の列車で出発。Dover ①出國カー  
ド記入② passport 審査③乗船後再び passport 審査 (佛蘭西側) Calais  
① passport 審査の際受け取った card に必要事項記入の後税関に提  
出。悪天候の爲船は大揺れて bar 閉鎖。同室の spanish の男女の内屈  
強の男性が船酔いで女性に介抱される姿滑稽。6:00 p.m. Gare de Nord  
(北驛) 着。£18 丈 change して hotel へ。女性の driver 英語は受けつ  
けず。止むを得ず拾数年前の佛蘭西語を想い出して會話。途端に彼女

今は昔 参拾餘年前の歐羅巴行脚一月も月立つごとき若きかな つくづく老いをするわが身何ならむ(梁塵秘抄)

愛想良くなる。不思議。9:00 p.m. hotel 近くの restaurant にて dinner。

(tip (to a maid) 30p taxi (to Victoria Station) 50p sandwiches & Coke 66p ticket (to Calais) 7.10p 計 8.56p Rubens Hotel £38. At France: taxi (fr. Nord to Iena Hotel 12francs + 2c tip (to a porter) 10c dinner 77.70c + 2.30c postcards (10) 10c 計 Fr 114)

8月13日 (Tue) 晴 London より可成暑し。

10:40 a.m. CHANGE にて換金。\$700 → Fr.3 291.40c。Paris 名物 café terrace で一休みの後、1:30 p.m. Cytirama 社の Paris 一周便に乗車。今日の Paris の暑い事今夏最高とか。4:00 p.m. に bus を降り St. Honeré 通りを window-shopping。何でも高い brand 品の羅列。7:30 日本料理店で dinner。此れも高い!

(tip (to a maid Fr. 2 Café 29.80c orange juice, etc. Fr. 4 bus Fr.35 Coke 2.50c tip (to a guide) Fr. 5 dinner Fr. 218 stamps (8) Fr. 16 Evien (2) Fr. 8 + Fr 1) 計 323.30c 英國で tip には或る程度馴れて居たものの佛蘭西の超徹底振りに驚く事しきり。)

8月14日 (Wed) 快晴 (街の温度計 28℃)

2:30 p.m. Louvre へ。可成の混雑振り。4:00 p.m. Rafyette 百貨店へ。display の modern な事流石。7:30 Japanese dinner。

(tip (to a porter) Fr. 10 (to a maid) Fr. 2 cakes 10.40c Cola & juice Fr. 4 luncheon 40.60c Louvre ticket Fr. 3 paper knife Fr. 18 taxi (fr. Rafyette to Iena hotel) 6.60c bread & mamalade 5.50c dinner 105.50c 計 192.40c)

8月15日 (Thurs) 快晴 極めて暑し。

10:30 a.m. Rue de Siam へ。建物の壁面に Gissing 在住の地との plate。早速寫眞を撮り、更に、附近を調査。4:20 p.m. Rue de Linné にて、33 番地に作家在住の建物を確認。8:20 p.m. dinner。

(tip (to a maid) Fr. 2 luncheon 21.00 + 2.00c taxi (to Linné) 8.90 + 1.00c Cola 2.30c toilet 60c dinner Fr 145 evian & beer Fr 9 計 226.90 何と街中の toilet 使用に tip が必要とは！)

8月16日 (Fri) 快晴 暑し

11:00 a.m. cafeteria にて pain baquette を喰べてから、Theatre de Chaillot の Musée de l'Homme 見學。2:00 p.m. Musée de l'Armée (Envalid) へ。4:30p.m. St. Honoré を散策。7:30 p.m. dinner の後、夜の Champs Elysées を歩く。

(tip (to a maid) Fr. 2 cafeteria 25.20c + Fr. 2 taxi (to Chaillot) 7.00 + Fr 1 Fanta 2.50c ticket Fr. 3 taxi (to Envalid) 5.20 + Fr. 1 toilet 50c beer & evian Fr. 6 cakes 8.20c taxi (to Iena hotel) 5.00 + Fr. 1 dinner Fr. 169 計 243.30c)

8月17日 (Sat) 晴 涼しい

10:40 a.m. Bois de Boulogne 散策。街路から入口迄約 3.7 km の廣大さに驚く。2:00 p.m. Trocadero 廣場前の café にて luncheon。8:00 p.m. dinner。Champs Elysées を歩く。今夜で Paris とお別れ。生涯壹度は来るべき場所とは思うが、貳度とは氣の進まぬお國柄。

(tip (to a maid) Fr. 2 luncheon 29.40c + 2.50c dinner 177.60 Cola Fr. 3 計 239.20c)

8月18日 (Sun) 晴 Lausanne 曇後雷雨

10:20 a.m. Gare de Lyon へ。12:20 p.m. TEE CHISALPIN にて Swiss の Lausanne へ。快適な列車の旅に満足。途中 Vallorbe にて passport 検査。佛蘭西出國と Swiss 入國との二回。4:59 p.m. Lausanne 着。5:15 p.m. La Residence Ouchy へ。湖畔散策後 hotel にて dinner。

(tip (to a maid) Fr. 2 taxi (to Gare de Lyon) 16.30 + 2.50c breakfast Fr. 13 luncheon 44.70c CHANGE (at Lausanne Station) FF 580 → SF 360 taxi (to La Residence) Sf 4.50 + Sf 1 tip (to a

今は昔 参拾餘年前の歐羅巴行脚一月も月立つごとき若きかな つくづく老いをするわが身何ならむ(梁塵秘抄)

porter) Sf 2 ice-cream Sf 4 post-cards (3) & stamps(3) Sf 3.60 計  
FF 121.70c SF 15.10c)

8月19日 (Mon) 晴時々曇 涼しい

10:30 Cathedralへ散策兼 window-shopping した後、cablecar を Metro と呼ぶと學んで即利用して見る。絶景。5:00 p.m. 湖にて pedal canot に試乗。景色良し。7:00 p.m.~9:00 p.m. 貳時間掛けて formal dinner。

(tip (to a maid) 1.50c ticket (Metro) 50c bread & cake Sf. 2.50c  
pedal canot Sf. 4 ice-cream 1.20c 計 28.70c)

8月20日 (Tues) 晴 暑し

CHANGE (at Lausanne Station FF. 600 → SF365。11:32 a.m. Lausanne 發 Genève へ。12:06 p.m. Genève 着。CHANGE (at Genève) \$400 → 1190SF。12:30 p.m. hotel の部屋の準備が整う迄、明日の bus の發着時間を確認した後、繪葉書と切手を購入し、souvenir を買い、夕食の bread と cakes を仕入れて hotel へ。(何と旅馴れて來た事か!!) 五星の豪華な hotel。

(tip (to a maid) Sf. 2 (to a porter) Sf. 2 bill of La Residence 147.50c taxi (to the station) Sf. 12 (to the hotel) Sf5.42 tip (to a room-service) Sf. 1 post-cards (6) 2.40 souvenir 38.75 stamps (4) 4.80c bread & cakes 6.20c dinner Sf. 53 計 276.65c)

8月21日 (Wed) 曇後雨 Mont Blanc 晴

8:30 a.m. Chamonix- Mont Blanc 行の bus に乗車して、10:30 a.m. 佛領 Chamonix の街に到着。A・B・C・D 四コースの中から Merde Glace (大氷河) を選び、cable で 30分、更に、cable を乗り換えて、約 5分で大氷河に到着。一見岩の如き氷河の中をくり抜いて恰かも鍾乳洞の様な内部は、拾分もすると涼しさを通り越して寒くなる程。2:00 p.m. luncheon。5:00 p.m. Chamonix を後にして 7:00p.m. Genève へ

戻る。何と市内停電！

(tip (to a maid) Sf. 2 Bus Tour Sf. 56 photo in the Glace Ff. 16 tickets (Sf. 6 + 4) dinner 54.50c 計 152.50c)

8月22日 (Thurs) 晴時々曇夜雨

11:30 a.m. 名所花時計を観てから 2:00 p.m. 自然・歴史・美術博物館見學。何と入場料無料の上に、實に清潔で guests に親切な點に驚く。將に、Swiss ならではなり。4:30 p.m. 湖上一周の遊覧船に。船内にて心無い四人の日本人旅行者に眉を顰める。7:30 p.m. Japanese restaurant にて dinner。

(tip (to a maid) Sf. 1 luncheon 33.50c Sf. 2 ice-cream & juice 2.50c lake cruise Sf. 9 post-cards (4) Sf. 2 dinner Sf. 75 計 129.50c)

8月23日 (Fri) 曇時々晴

12:38 p.m. 發 Zurich 行きの列車にて首都 Bern へ。2:21 p.m. 着後、獨逸語地區の爲可成苦勞して漸く hotel へ。四箇國後通用の國の所爲か。4:00 p.m. 市内を散策。Genève より更に清潔で、到る處に花が植えられて居て見事。7:00 p.m. Della Casa にて dinner。

(Des Beruge Sf. 619 tip (to a porter Sf. 1 watch (1) Sf. 34 taxi (to Silberhof) Sf. 10 tea & cake 5.70 souvenir Sf. 29 cable (refour) Sf. 1 dinner 46 + 4.00c 計 740.40c)

8月24日 (Sat) 薄曇

10:20 a.m. 大寺院見學。偶然地元の吹奏樂團の演奏に出逢う。優雅。12:30 a.m. luncheon 1:20 p.m. Gluten Klum 山の山頂へ cable にて登る。絶景。Bern の市電は乗車券の検査も無く全く呑氣なもの。7:30 p.m. hotel にて dinner。

(luncheon Sf. 18 ticket (cable) 50c Cola 1.30c gum 40c Cable (retour) Sf. 3 tea & sandwiches Sf. 13 cable (to the hotel) Sf. 1 計 38.50c Hotel Silberhof 202.50c)

8月25日 (Sun) 曇後晴 Venetia 暑し。

6:52 a.m. 發 Venetia 直通の急行列車にて Swiss を離れ、4:59 p.m. Venetia 着。實に、約拾時間の長旅。流石に疲れる。Bern と同様、hotel 迄の道順に苦勞した揚句、6:30 p.m. 漸く辿り着く。此處では、水の都らしく、運河を走る船を taxi と呼ぶ。gondola に乗ろうと交渉した處、足元を見て 4,500 liras を 10,000 liras と吹掛けて来る始末。伊太利は氣の許せぬ國と痛感。7:50 p.m. hotel にて dinner。9:00 p.m. St. Marco 廣場の café にて音樂を聴く。此の國は、創造通り、貧しくて人間の感じの極めて悪い處。じろじろと人の顔を見たり、質問に眞面に答えなかつたり。但し、例外として、水上バスの乗務員丈は親切で、將に、地獄で佛の感。然し、彼は、Italian では無かつた (!) CAMBIO (= CHANGE) \$100 = 64,000 liras SF 20 = 4,200 liras

(taxi (to Bahnhof Station) SF10 luncheon (in the dinning-car Li. 7,860) telephone (to the hotel) Li. 150 bus (to the hotel) Li. 150 beer & Cola Li. 1900 計 SF20 Liras 10,060)

8月26日 (Mon) 晴曇夜小雨

12:15 p.m. ristorante で luncheon。2:00 p.m. bus にて Santa Lucia 驛へ。Cambio (at Banco Italiano) \$100 = 63,500 liras \$100 = (at station) 64,000 liras 7:30 p.m. hotel にて dinner。

(luncheon 59.50 liras ice-cream 1.50 Cola (3) 1,050 souvenir 1,200 scale 20 liras 計 8770 liras)

8月27日 (Tues) Venetia 曇後雷雨 Firenze 晴

11:28 a.m. Rome 行の列車が突然の雷雨で遅れ、12:10 p.m. 漸く發車するも途中幾度と無く停車した揚句、漸く 5:00 p.m. に Firenze に到着。休息の後、7:30 p.m. Buca Dell O'RAFO へ。Italian dinner。古都の故か、Venetia に較べて、人が皆親切。

(taxi (to Santa Lucia Station) 4,500 liras Hotel Luna 73,950 tips (to porters 1,600 luncheon 10,100 tip (to a porter in Firenze) 1,000

taxi (to the hotel) 1,000 tips (to porters) 800 tip (to a consierge)  
500 souvenir 45,500 dinner 8,200 + 800 計 147,500)

8月28日 (Wed) 雷雨 夕刻より晴 冷涼

cambio (at Italian Bank) \$100 → 65,000 liras

11:00 a.m. より window-shopping. 12:00 p.m. luncheon. 1:00 p.m. Medici  
家の墓所見學。雄大さに The Medici の隆盛を實感する。8:00 p.m. hotel  
にて dinner。

満參拾七歳の誕生日を Firenze の人氣も疎らな hotel の dining-  
room で wine を傾けて祝う。極めて印象的なり。「それがしもその日  
暮らしぞ・木槿花」(一茶)

(tip (to a maid) 500 luncheon 3,600 ticket (Medici Cemetery) 400  
+ 100 (tip) taxi (to the hotel) 800 + 100 souvenirs 43,000 + 22,600  
計 71,000)

8月29日 (Thurs) 快晴 Rome 暑し。

10:38 a.m. TEE にて Rome へ。今日は定刻通り 1:40 p.m. Termini  
Station 着。小憩後 Sporting Hotel へ向う。早速 Vatican へ。St. Pietro  
大寺院見學。入口にて no sleeves の外國人觀光客が入場を止められ、  
兩肩兩腕の露出を咎められる。興味深く觀察を續けた處、係員の指示  
(!) で、寺院横の店で、ビニール製の半コートを着用して pass!! 將に、  
Italy の感。6:00 p.m. Japanese restaurant にて久々の本格的な和食に  
舌鼓。將に、日本人なり。

(tip (to a porter) 300 Hotel Lunchesi 56,350 taxi (to the hotel)  
700 + 100 tip (to a station porter) 600 taxi (to Sporting Hotel 1,000  
Vatican 1,500 taxi (to the hotel) 1,200 tip (to a porter) 450 dinner  
13,100 taxi (to the hotel) 700 計 76,400)

8月30日 (Fri) 快晴 暑し。

2:00 p.m. Gissing が Italy & Greece 旅行の途次滞在した hotels の在



今は昔 参拾餘年前の歌羅巴行脚一月も月立つごとき若きかな つくづく老いをするわが身何ならむ(梁塵秘抄)

る Margutta St. と Broschetto St. を調査。共に石畳みの古色蒼然とした街並み。4:00 p.m. Tivoli の泉と Colosseum を訪れる。前者の観光客が溢れた雑踏振りに較べて、西陽を受けて鬱然と佇む古代圓形競技場の姿は、將に、此の地の歴史的な存在を象徴するもの。其して、其の朽ちかけた壁面に、古代ローマ帝國の没落の影を垣間見た想いに驅られる。8:30 p.m. hotel にて dinner。

(map of Rome 500 taxi (to Popolo) 1,000 luncheon 2,200 taxi (to Colosseum) 600 taxi (to the hotel) 700 shoes (2) 24,300 敷 革 2 500 計 29,300)

8月31日 (Sat) 晴

1:45 p.m. Leonardo D'vinci 空港へ。手荷物總て入念に check される。時代の暗さを實感。Skipole 空港の検査の厳しさを想い出す。係官の横柄な態度に、Italy の現状を感じる。4:00 p.m. 發予定の Olympia 航空 Athens 行が約貳時間近く遅れて、5:45p.m. 漸く離陸し、7:00 p.m. に Athens 着。CHANGE (at Athens Airport) 26,000 lira → 10,505 dr. (1dr. = 約 11 圓) Marmara Hotel へ。10:00 p.m. 市内を散策。game centre で遊び、後 beer を飲む。親日國との定評通り、人々皆親切。つい Italy と比較してう。

(tip (to a porter) 300 Grand Hotel Continental 59,000 tip (to a chief-waiter in place of luncheon fee) 1,000 game centre 500 beer 500. (計 61,300 lira + 1,000 dr.))

9月1日 (Sun) 快晴

9:15 a.m. Athens 市内観光に出掛け、Acropolis に建つ約貳千五百年前の建造物 Parthenōn 神殿を初め、數多くのギリシア遺跡の雄大さに搏たれる。思わず Gissing の *By the Ionian Sea* の描寫が幾度と無く腦裏を掠める。12:30 p.m. 東京へ國際電話。1:00 p.m. luncheon。3:00 p.m. 空港へ向う。整然とした周囲の様子は、近隣に於ける戦争状態の終結直後とは思えない程平靜。5:00 p.m. 發の予定が、五拾五分遅れて、5:55

p.m. に KLM861 便が離陸。南回りにて一路日本へ。(Athens での hotel 等の諸経費總べて日本出發時に旅行會社に支拂濟の爲、支出無し。)

9月2日 (Mon) 晴 東京 暑し。

9/1 5:55 p.m. (現地時間) Athens 發 → 10:00 a.m. (現地時間 11:25 p.m.) Dubai 空港着。猛烈な暑さ！ 11:00 a.m. (同 0:25 a.m.) Dubai 發 → 9/2 2:10 a.m. (同 5:40 a.m.) Dehli 空港着 3:40 a.m. (同 7:40 a.m.) 同空港發 → 7:20 a.m. (同 11:48 a.m.) Bagdad 空港着。暑し。8:30 a.m. (同 12:58 p.m.) 同空港發 → 11:40 a.m. (同 5:40 p.m.) Manila 空港着 12:30 p.m. (同 6:30 p.m.) 同空港發 → 11:20 p.m. 終着東京羽田空港着。

(機内にて cigarettes £200. 20p + 100dr. perfume (Chanel NO5(1/2onz) \$16 Nina Ricci (3) \$26.25 beer, etc. 100dr. taxi (同八王子) 10,000 圓斯くして、約壹箇月間の初めての海外旅行終焉。)

此の往路北回り歸路南回りと謂う、將に、亞細亞・歐羅巴兩大陸一周、即ち、地球の半分を駆け巡る旅の目的は、冒頭にも述べた通り、後の英國への長期留學の下檢分との意味合いと、今一つ敬愛する George Gissing が、紀行文 *By THE IONIAN SEA* 執筆を企圖して、悠久の歴史に名を残す Italy と Greece を周遊した痕跡を、筆者自ら實地に確認したかったからであった。

'As well as my picture studies, I am working hard at Italian. What for? say you. Ha, ha! Believe it or not ; if all goes well, in a month's time I shall be in Italy! We have decided to go to Naples. I shall look out from my window every morning at Vesuvius; I shall walk about in Herculaneum and Pompeii; I shall look all day long at the blue bay of the Mediterranean! This is news if you like. More of it before long.'

(*Letters of George Gissing to Members of his Family*, p.p. 226-227)

筆者の滞佛の丁度約壹世紀以前の 1894 年に Paris に在った作家が、實妹 Margaret に宛てた書簡の中に、憧憬の地 Italy へ向うとの固い決意が示されて居て、若年の頃 historian を夢見た作家の歴史の寶庫とも謂われる彼の國への強烈な執着振りが見て取れるのだが、實際に、France の Toulon を經由して、地中海回りで、1888 年 10 月 30 日に Naples へ到着した際、同湾から Vesuvius を初めて見た時に、其れ迄書物に依って脳裏に創造されて居た Italy への敬慕の念が、將に、一瞬にして吹き飛ぶ様な凄まじい印象を受けたのである。

'October 30. In the port of Naples at 4 o'clock. There followed an indescribable scene. As soon as ship approached, there came forth dozens of little boats, the boatmen roaring out the name of hotels which they represented. Of course in language quite unintelligible to me... As we pulled towards the custom house began a yet more terrible struggle. First of all we had to fight with porters to keep our luggage; then when it was once on the table, we were crushed in a roaring, struggling crowd. No attempt at order; I suppose this scene could only have taken place with an emigrant ship. Providentially, we yield ourselves to the directions of a shabby but lively little fellow who seemed to speak every language. The wild and grotesque gesticulations all about us. Baggage strictly examined, as we came from France, and the abolition of the commercial treaty is just now giving much trouble. P's tobacco pouch and two packets of tea sent off to an inner office but eventually returned to us. Then again a fight between the porters authorised by our little fellow, and all the others about. At last out we went in procession after our truck, and going we knew not whither were led to the Albergo New York, just opposite the light house. With much difficulty we got settled about a room for two

nights and paid all charges. The little fellow shook hands with us all effusively.'

(*Ibid.*, p. p. 231~232)

野卑で無秩序な港の光景が、作家の第一印象を非道く害したのである。筆者も、前述した旅行記の中で、大同小異の凄まじい光景に出會した（特に、初めて到着した Venetia での gondoriers との乗船賃を巡っての不愉快な想い等々）経験を、度々記録したが、此の國の人々の習性は壹世紀を経ても尚搖ぎないものであるらしい。

然し、諸々の歴史的景観の素晴らしさは、作家も筆者も殆んど同感する處である。

'Friday, November 30. In spite of intense weariness could not resist the Forum and Colosseum in the afternoon. The astonishing difference between Rome and Naples. They are not the same nation. Here no noise, no pestering to buy, etc. — all grave and quiet and dignified.'

(*Ibid.*, p. 249)

Venetia から Frenze に着いた時の筆者の感慨と、將に、完全一致して居て、我が意を得たりとの心境である。今一つ作家の印象を擧げて見よう。

'December 14. Woke early this morning and enjoyed wonderful happiness of mind. It occurs to me, is not this partly due to the fact that I spent my days solely in the consideration of beautiful things, wholly undisturbed by base necessities and considerations? *In any case the experience is most remarkable.*'

(*Ibid.*, p. 264 *italics* は筆者)

將に此のパーソナルコンピューターも携帯電話も無く、直行便もユー

今は昔 参拾餘年前の歐羅巴行脚一月も月立つごとき若きかな つくづく老いをするわが身何ならむ(梁塵秘抄)

ロスターも存在しなかった時代の旅は、例えば、貳拾年を費して完成した世界最長の *simplon tunnel* の中の薄暗い食堂車で、一人のんびりと寛いで居られた静かな時間とか、人気の殆ど無い Hyde Park で一人ぼつねんと紫煙を燻して過した完全に孤獨な一時等々、思い返せば限り無く懐かしく、昨日の事の様に念頭に去來する scene を賦與して呉れた、將に、'remarkable' な 'experience' に満ちたものとして、今も尚、老いた筆者の青春の掛け替えの無い思い出であったのである。蛇足を加えるならば、此の旅の經驗を基に、翌年「武蔵野女子大學紀要」に「Gissing 行脚— England. France. Swiss and Italy」と題して發表した拙論が、翌年の「英語年鑑」(研究社)の書評に於いて、可成りの好評を博した事を附記したい。

参考：\$1 = 320 圓 £1 = 約 820 圓

FF1 = 約 60 圓 SF1 = 約 96 圓

Li.1 = 約 2 圓 Dr. = 約 11 圓